

地域おこし協力隊 活動記 Vol.112

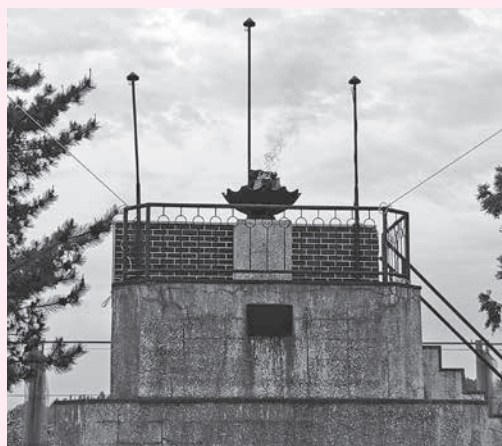
古代オリンピックで灯されていた聖火が近代に復活したのは、1928年のアムステルダムオリンピックからだそうです。そこまで長い間休止していたわけはありませんが、相馬でも久々に聖火が灯りました。

5月17日（土）、相馬小学校の運動会が行われました。心配された雨もなんとか持ちこたえ、薄曇りの空模様。光度がやや低い校庭に映えたのが、聖火台に灯された聖火です。ご存じかもしれませんが、市内の小学校で聖火台を有するのは相馬小のみ。その聖火台も設備の不具合で長い間「休業」していました。

しかし、児童たちにぜひ聖火を見せてあげたい、と聖火の復活を期したのが、工藤直樹校長先生です。といっても新たに作り直したり業者に修理を頼む予算もないことから、工藤先生が他の先生や保護者の方々の協力を得ながら運動会当日に間に合わせて整備したそうです。

火は農家さんからいただいた枝を燃やしたもので本物の聖火ではありませんが、工藤校長先生らの想いのこもった火は、きつと児童たちにとって大きな励みになったことでしょう。とくに、今年が最後の運動会となる6年生には、思い出深い日（火？）になったに違いありません。

正確にはわかりませんが、相馬小の聖



久しぶりに火が灯った相馬小学校の聖火台。5月17日（土）に行われた運動会にて

火台が灯ったのは何十年ぶりのこと。この人たちの時代にはまだ聖火台はなかったかもしれないが、きつと運動会の記憶は鮮明に残っているはずだ。

この人たちとは、「相馬村出身者の集い」に來られた方々のこと。首都圏などに暮らす相馬出身者が集まる恒例の集いが、さる5月11日（日）、東京・上野のレストラン「グリーンパーク」で行われました。今年で66回目となる集いには、昨年を上回る46名の方が参加。相馬からも、わたし（加賀）を含め4名が出席しました。毎年顔を合わせる方もいれば、数十年ぶりの再会を果たす方もいて、会場は大盛り上がり。ちょうど母の日ということもあって、女性の参加者にはカーネー



5月11日（日）に開催された「相馬村出身者の集い」。女性の参加者には、カーネーションがプレゼントされた

ションがプレゼントされました。

相馬小の子どもたちのなかにも、いつか相馬を離れることになる子がいるでしょう。それでも、たまには相馬の仲間たちと顔を合わせ、「聖火の思い出」などを語り合うようになってほしいものです。

